

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 705

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	長野 久好
事業名	青少年活動事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	わくわくわんぱく交流ふれあい事業			政策体系	134
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 1.社会		

1. 事業の概要

市内在住の児童(障がいのある児童を含む)に対し、休日や長期休暇中に、広く地域の人たちや他の子どもたちと交流する中で、様々な体験ができる機会を提供する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

自然体験活動を通じて青少年の健全育成と障がいに対する理解を深める事業。
休日や長期休暇時期において季節等に応じた体験活動を年10回程度実施する。

②事業を実施する必要性

児童が協調性や連帯感を高め、自己の価値を見出すことが必要とされていることから、次のことを重点として取り組む。
(1)豊かな環境の中で様々な体験活動を通して感性を育み、ものごとを深く見つめる力を培う。
(2)あらゆる機会での「対話」を重視し、出会いや交流を通じて自己の良さや価値を見出し、自尊心を高める。
(3)障がいのある児童と共に活動することを大切にしながら、協調性や連帯感、思いやりや人権意識を育む。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	1,210	887	948	580	456	500	500
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	90	60	60	60
	国・府支出金	千円	1,044	850	818	487	350	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	166	37	130	3	46	440	440
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.57	0.42			
人件費		千円	—	—	4,004	2,527			
事業費総額		千円	—	—	4,952	3,107			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

報償費 163,000円 (講師謝礼)
需用費 167,307円 (消耗品、活動冊子印刷費他)
使用料及び賃借料 210,475円 (バス借上料他)

5. 事業結果の概要

・対象：市内小学5～6年生の児童、市内在住の障害のある児童 計60人
・実施事業：田植え体験、酪農体験、サマー合宿、自然散策等

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 体験活動事業		
●開始式・田植えをしよう！(わくわくキッズ) 場所：旧五ヶ荘小学校及び近くの田んぼ・開始式(アイスブレーキング、活動班及び班長の選任、1年間の約束を決める)・田植え体験	5月24日(日)	参加者33名、指導者10名
●酪農体験(わくわくキッズ、特別支援学校及び学級) 場所：谷牧場、氷室の郷・酪農体験(牛の乳搾り・バター作り)	6月21日(日)	参加者48名(うち障害のある子ども3名)、指導者17名
●ふるさと発見隊(水の路めぐり) 場所：美山町大滝水路他・魚の学習(説明：美山漁業協同組合)・たんけん水の路(説明：地元水利組合)	8月4日(火)	参加者40名、指導者11名共催：京都府南丹広域振興局
●サマー合宿(わくわくキッズ) 1泊2日 場所：旧五ヶ荘小学校・部屋(旧教室)の掃除・食事(飯ごう等)づくり・フィールドワーク(川くだり) 他	8月19日(水)～20日(木)	参加者35名、指導者12名
●稲刈りをしよう！(わくわくキッズ) 場所：旧五ヶ荘小学校及び近くの田んぼ・稲刈り体験・スポーツ交流(スカイクロス)	9月20日(日)	参加者18名、指導者5名
●秋の自然体験(わくわくキッズ、特別支援学校及び学級) 場所：美山自然文化村・自然体験(りんご狩り、自然散策、フレームづくり)	10月25日(日)	参加者15名(うち障害のある子ども5名)、指導者21名
●ウインター合宿(わくわくキッズ) 1泊2日 場所：美山町自然文化村 他・雪とうろう作り・木の粘土での工作 他	1月30日(土)～1月31日(日)	参加者40名、指導者5名
(2) 参加者(ボランティア) 募集		
●高校生(大学・一般)ボランティア募集 対象：管内高校(亀岡、南丹、園部、農芸、聖カタリナ)及びボランティア経験者※登録者は保険加入	4月募集	ボランティア登録29名
●わくわくキッズ参加者募集 対象：市内小学校5～6年生※登録者は保険加入	4月募集	登録65名
●ふれあい交流参加者募集 対象：市内小学校(特別支援教室)及び市内在住(丹波養護学校等)学生※登録者は保険加入	4月募集	登録6名
(3) その他		
●活動報告書作成・事業内容、参加者(ボランティア含む)の感想、写真等をまとめた報告冊子を作成(印刷製本)	3月作成	配布先：市内小学校、丹波養護学校、ボランティア依頼高校、市社会教育委員、関係行政機関(府教委等)

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

- ・参加児童の安全管理について議論し、事業実施できた。
- ・障がいのある児童とともに体験活動を実施することにより、参加者はもちろんのことボランティアを含め自己有用感や協調性、連帯感を高めることができた。
- ・参加者比率では園部管内の小学生が高いため、他地域からの参加者比率を高めることにより、さらなる交流を深めることが必要である。
- ・京都府の委託事業として実施しているが、22年度末で委託事業が廃止されることから、財源確保を検討する必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
参加児童の安全管理について議論した。
- ②当該事業のアピール事項
障がいのある児童とともに体験活動を実施することにより、参加者はもちろんのことボランティアを含め自己有用感や協調性、連帯感を高めることができた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
参加者比率では園部管内の小学生が高いため、他地域からの参加者比率を高めることにより、さらなる交流

深めることが必要。